

「佐渡金銀山」保存・活用行動計画
令和6年度事業点検・評価調書

4-I-13

4-I-13

章	第4章 世界遺産登録に向けた来訪者の受入体制整備	取組項目	外国人観光客の受入環境整備
節	I. アクセスルートの整備・来訪者の誘導等	事業主体	佐渡市観光振興課
事業(施策)名	13 案内サイン等の多言語化	関連団体	県交通政策課、佐渡地域振興局(企画振興部、地域整備部)、佐渡市交通政策課、佐渡市建設課、佐渡汽船(株)、新潟交通佐渡(株)
事業実施期間	H28～R6		
事業概要	【事業目的】 ○ 案内サイン等の多言語化により、外国人観光客の受入環境整備を図る。 【事業内容】 ○ 公共施設、佐渡汽船ターミナル等、公共交通機関施設における案内サインについて多言語化を進める。 【本計画終了時点のゴール】 ○ 案内サイン等が多言語されており、訪日外国人が困難なく旅行ができる体制。		
これまでの取組実績	○ 国際交流員による島内受入環境の確認を行うとともに、多言語化への助言を行った。 ○ 海外メディア招請事業の際に多言語化の状況を確認した。 ○ モニターツアーに参加した外国人に対し、アンケートを実施し案内サインの充実度合いを調査し、関係施設へ結果を提供した。 ○ アプリやWEB(GoogleMap等)で、島内バス路線の検索が可能となった。		
事業計画と実績	【R6年度計画】 ● webサイトと連携する形で案内の多言語化を進める。 【R6年度実績】 ● 英語版「さど観光ナビ」に誘導するQRカードを作成し、佐渡汽船など交通の主要箇所に設置した。		
事業評価	【ゴールに対する計画終了時の達成度】 [A・<u>B</u>・C] ◇ 全く困難が無いわけではないが、概ね達成されている。		
課題	■ 路線バス等の説明や、細かな部分の多言語化を更に進める必要がある。		

A: 予定を上回る進捗
B: 概ね予定どおり
C: 遅れている。